

皆さまにとつて庄内地区とはどういう地区ですか。開発が進んで新しい店舗が立ち並ぶちょっと都会な地域?それとも弘法山古墳や神社があり、街角に石碑が立つている文化財の多い地域?

古くもあり、新しくもある、そんな庄内地区を、もつと知つてみたいと思いませんか。

今回の館報は、地区の魅力を改めて見つける「○○を知る」シリーズとして、庄内地区を探索し、地区の歴史や文化財、ちょっとした出来事や変化をお届けします。

お読みになつた皆さまにとって新しい発見があつたり、ちょっととしたウオーキングのきっかけになればと思います。

皆さまにとつて庄内地区とはどういう地区ですか。開発が進んで新しい店舗が立ち並ぶちょっと都会な地域?それとも弘法山古墳や神社があり、街角に石碑が立つている文化財の多い地域?

古くもあり、新しくもある、そんな庄内地区を、もつと知つてみたいと思いませんか。

今回の館報は、地区の魅力を改めて見つける「○○を知る」シリーズとして、庄内地区を探索し、地区の歴史や文化財、ちょっとした出来事や変化をお届けします。

お読みになつた皆さまにとって新しい発見があつたり、ちょっとしたウオーキングのきっかけになればと思います。

皆さまにとつて庄内地区とはどういう地区ですか。開発が進んで新しい店舗が立ち並ぶちょっと都会な地域?それとも弘法山古墳や神社があり、街角に石碑が立つている文化財の多い地域?

古くもあり、新しくもある、そんな庄内地区を、もつと知つてみたいと思いませんか。

今回の館報は、地区の魅力を改めて見つける「○○を知る」シリーズとして、庄内地区を探索し、地区の歴史や文化財、ちょっとした出来事や変化をお届けします。

お読みになつた皆さまにとって新しい発見があつたり、ちょっとしたウオーキングのきっかけになればと思います。



今回のルートは地区の南出川・並柳方面を巡り、終着点は弘法山!

庄内地区を歩くといつても中々広い!ちょうどゆめひろば庄内が地区のほぼ中央に位置しているので、そこを起点に地区の南側を探つてみたいと思います。

すし待完新工事は令和3年3月末に定です。新設の完成が遠いですね。



増水すると、並柳方面の水路から流れる雨水が排水できくなり、床下浸水に繋がる恐れがあります。この施設は、流れてくる雨水をポンプで吸い上げて田川に向かって放水するためにつくられています。

完了予定期で遠いですね。



ここから、道のあちこちに白塗りの看板が目につき始めました。この看板は、出川町史跡研究会という団体が残した、出川地域にかつて存在した建物跡等を記録したもの。「信楽村役場跡」「出川番所跡地」「出川差矢場跡地」といった数々の看板が、道の脇に建てられています。時代劇に出てくるような街並みが、ここにも存在したことの証ですね。

人生は素晴らしい輝かしいものではないでしょうか?それは、眞子様が以前にもまして美しくなられていることでもわかります。プリントセスですから、みんな関心が高いのは当然です。でも人を傷つけるような記事やSNSの書き込みを目にして悲しくなります。美しく尊いものを大切にして

NEW
新企画

意外と盛りだくさん! 庄内地図の「○○」を知る!



早速、地域の変化を発見!
仮設ポンプ施設の工事

庄内地区	令和3年1月1日現在人口
世帯数	7,049戸
男	7,377人
女	7,376人
合計	14,753人
庄内地区公民館 発行 (ゆめひろば庄内)	
電話 24-1811 FAX 24-1812	

歴史の記録を発見!
中田家住宅から多賀神社へ



人を愛おしく思う気持ち、美しく尊いものです。だから古代より文学や芸術のテーマになつてきました。11月初めに眞子様が結婚に関するお気持ち文を発表されました。文は「私たち」とあります、私には眞子様の相手の方に対する強いお気持ち一いわゆる恋文に思いました。恋文を一般に発表するなんて何と勇ましい行動でしょう!ましてや、世間から色々言われることを覚悟されてのことでしょう。相手の方についての私見は控えます。けれど私は思います。眞子様の文に思いました。眞子様の気持ちは眞実であり、これほど愛せる人に出会った

人生は素晴らしい輝かしいものではないでしょうか?それは、眞子様が以前にもまして美しくなっていることでもわかります。プリントセスですから、みんな関心が高いのは当然です。でも人を傷つけるような記事やSNSの書き込みを目にして悲しくなります。美しく尊いものを大切にして

**多賀神社に到着
石碑の中に震災の記録も**

出川通りを進み、多賀神社に到着しました。愛称はお多賀様、延命長寿の神様で知られています。毎年9月10日と11日の2日間にかけてお祭りが開かれていました。神社入ってすぐの看板には牛や馬に入る事を禁止するといった文面が。それも昭和20年。この時代の生活の中には、まだ牛や馬がいたことが伺えます。敷地内を探索すると、令和元年の記念樹を見つけました。何十年かすれば、この木も大きくなることでしょう。他にも震災の記録を残す石碑がありました。このような記録も残しておかないと、当時どうなことが起きたのか、忘れられてしまふのかもしれません。



それを示すように、町会内のグループ名が上耕地・中耕地・下耕地と分かれています。並柳公民館にたどり着くと、建物裏に「畜牛慰靈塔」を発見。ここがどういう地域だったかを読み取ることができますね。

並柳に響く子ども達の
声を聞きながら…



やまびこ国体道路を渡り、並柳小学校の北側の道を進むと、グラウンドから子どもたちの元気な声が聞こえてきます。大勢の友達と遊び、はしゃぐ姿を見て、これからも元気をもらつた気分になりますね。

小学校の少し東側の斜面にある並柳神明宮を目指します。並柳団地のちょうど北側にある斜面を進んで神明宮の入り口に到着。キツイ上り坂に息が切れますね。鳥居を潜った先に、神明宮の御由緒略誌を発見。お祭りする神様のことだけでなく、並柳という地名の由来や、先程の並柳町会のグループの区分けについても記載がありました。

歴史を知るということは、こうして現地に足を運んでこそ得られるものもあると思います。

ていました。あいにく天気は曇りではありましたが、ここまで歩いてきた分、感激もひとしおです。よくCMや観光パンフレット等に、眺めのよい景色が背景にされてますが、こういう自分だけの絶景ポイントを探し当てたことに喜びを感じます。ここに住んでいる方々は、毎日この眺めを目にしているかと思うと何だかうらやましくなってしまいますね。

今回はそれなりの距離を一気に歩き通しましたが、次の楽しみも考え、もう少



もできました。今は何気ない一枚でも、今後50年、100年後には、貴重な歴史的な記録に変わっているかもしれません。次回は地区の北側を巡つてみたいと思いしますので、お楽しみに！

